



特集

平成28年度沖縄農林水産業の情勢報告の
公表について

ふるさと名物応援宣言

～地元の特産品を「地域ブランド」として情報発信～



クルマを大切にするって、

人生も大切にする事なんだ



マイカーの点検・整備は愛する人への思いやりです

安全確保と環境保全には、クルマの点検・整備が必要です



平成26年2月から車検証の備考欄に点検・整備実施状況の記載を開始しました。詳しくは、QRコードをご参照。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000089.html



●自動車の点検・整備のことが詳しくわかります。点検・整備 検索 www.tenken-seibi.com

■推進：国土交通省 自動車点検整備推進協議会 ■後援：内閣府 警察庁 環境省
■協力：独立行政法人自動車技術総合機構 軽自動車検査協会 独立行政法人自動車事故対策機構

一般社団法人 日本自動車整備協会連合会	一般社団法人 日本自動車工業会	一般社団法人 日本自動車販売協会連合会	一般社団法人 全国軽自動車協会連合会	一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会
日本自動車輸入組合	一般社団法人 全国自動車連盟	一般社団法人 全国自動車流通協会	一般社団法人 日本バス協会	一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
一般社団法人 全国レンタカー協会	一般社団法人 日本自動車タイヤ協会	全国石油販売業協会連合会	一般社団法人 自動車検査情報情報協会	公益財団法人 日本自動車教育振興財団
一般社団法人 日本損害保険協会	全国汎用部品流通協会連合会	全国光電管共済生活協同組合連合会	一般社団法人 日本自動車部品工業会	北日本自動車部品流通協会
全国自動車電装品整備技術協会連合会	一般社団法人 自動車用品小売業協会	一般社団法人 電池工業会	全国ディーゼルエンジン部品協会連合会	日本自動車部品流通協会連合会
一般社団法人 日本自動車工業会	全国タイヤ加工協同組合連合会	全国自動車部品流通協会連合会	一般社団法人 日本自動車部品協会	全国オートバイ協同組合連合会(連年刊)



2017 自動車点検整備推進運動

～ 美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>
広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。

副大臣及び大臣政務官のプロフィール

【趣味】 【好きな言葉】

アイスホッケー、映画鑑賞
絆（きずな）、道理

【経歴】

平成11年4月 横浜市議会議員初当選
平成17年9月 衆議院議員初当選
平成24年12月 衆議院議員二期目当選
平成26年12月 衆議院議員三期目当選
平成27年3月 内閣府大臣補佐官
平成29年8月 内閣府副大臣

（沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、海洋政策、領土問題、防災、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策、沖縄基地負担軽減、国土強靱化、IT政策等を担当）

平成29年8月7日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府副大臣に、ふくだ峰之氏が就任しました。



内閣府副大臣に
ふくだ 峰之氏が就任
みね ゆき

【経歴】

平成25年7月 参議院議員初当選
平成29年8月 内閣府大臣政務官

（沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、海洋政策、領土問題、防災、少子化対策、男女共同参画、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策、女性活躍、沖縄基地負担軽減、国土強靱化、一億総活躍、IT政策等を担当）

平成29年8月7日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府大臣政務官に、山下雄平氏が就任しました。



内閣府大臣政務官に
やました ゆうへい
山下 雄平氏が就任

【趣味】 【座右の銘】

読書
以管窺天

就任の御挨拶

この度、第3次安倍第3次改造内閣において、沖縄担当大臣に就任いたしました。

沖縄政策という重要な課題を担当する大臣として、これまで国土交通副大臣などを務めた経験も活かし、成長するアジア地域との地理的近接性などの潜在力を持つ沖縄が、日本のフロントランナーとして経済再生の牽引役となるよう、国家戦略として沖縄振興策を総合的・積極的に推進してまいります。

大臣就任後間もなく、沖縄を訪問させていただきましたが、沖縄県知事を始めとした地元の方々との意見交換や沖縄科学技術大学院大学、西普天間住宅地区跡地の視察等を通じて、担当大臣としての決意を新たにいたしました。

重責ではありますが、地元の皆様の声もお聞きしながら、沖縄の現状をしっかりと把握し、沖縄振興に全力で取り組んでまいります。

え さき てつ ま
内閣府特命担当大臣 江崎 鐵磨

江崎大臣の沖縄訪問

江崎沖縄担当大臣は8月8日～9日にかけて、大臣就任後初めて沖縄県を訪問しました。

大臣は沖縄県知事を始め地元の方々との意見交換を行ったほか、平和祈念公園や西普天間住宅地区跡地、那覇空港の第2滑走路建設現場等の視察を行いました。



沖縄県知事との懇談



市町村3団体代表及び各圏域団体代表との懇談



国立沖縄戦没者墓苑参拝



西普天間住宅地区跡地視察

趣味 座右の銘

絵画鑑賞
切磋琢磨

経歴

平成5年7月 衆議院議員初当選
平成8年10月 衆議院議員二期目当選
平成12年4月 外務総括政務次官
平成15年11月 衆議院議員三期目当選
平成17年9月 衆議院議員四期目当選
平成17年9月 国土交通副大臣
平成24年12月 衆議院議員五期目当選
平成26年12月 衆議院議員六期目当選
平成29年8月 内閣府特命担当大臣
（沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、海洋政策）
領土問題担当大臣



平成29年8月3日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府特命担当大臣に、江崎鐵磨氏が就任しました。

平成28年度 沖縄農林水産業の情勢報告の公表について

特集

【農林水産部】

農林水産部では、平成28年度の沖縄の農林水産業の動向などを取りまとめた「平成28年度沖縄農林水産業の情勢報告」を公表しました。平成28年度の特集部分は、ホットな事例や人物などを取り上げ、沖縄の多様な地域情勢を5つのトピックとして紹介しています。

- トピック1：未来の沖縄農林水産業を担う生産者たち
- トピック2：地域農業の新たな展開を牽引する農業生産法人
- トピック3：水が拓く沖縄の農業と新たな取組について
- トピック4：「平成28年度沖縄におけるインバウンドの農林水産物・食品の消費及び農泊の実態調査」について
- トピック5：現場と農政を結ぶ業務について

このうち、2つのトピックを以下のとおり紹介します。

未来の沖縄農林水産業を担う生産者たち

1. 概要

沖縄県内で、高い経営意欲に基づき地理的・文化的特性を活かした多種多様な農林水産物を生産し、地域農林水産業や農山漁村についての独自のビジョンや問題意識を持つ若手生産者（以下の5名）を取り上げ、紹介しています。

紹介に当たっては、現在までの御経歴（生い立ちや現在の生業に従事した契機など）や事業の現状・展望、御自身が考える沖縄農林水産業や農山漁村の在るべき姿などについて個別にインタビューを行いました。

また、当該トピックは、今回の紹介により、掲載した各生産者の皆様の今後の更なる御活躍の一助となり、他の生産者の今後の事業や地域活性化の取組の御参考としていただくとともに、第一次産業とは関わりのない又は今後の就農を考えている方々が、沖縄だけでなく農林水産業全体への御関心を抱くきっかけになることを目的に作成しています。

2. 取材した若手生産者※

- 生産者①：宮古島市伊良部島の吉浜崇浩氏（カニ漁師・養殖業者）
- 生産者②：与那国島の本田哲也氏（パクチー等農家）
- 生産者③：石垣島の砂川拓也氏（葉たばこ農家）
- 生産者④：今帰仁村の豊里友作氏（スイカ農家）
- 生産者⑤：多良間島の湧川農氏（肉用牛繁殖農家）

※ 紹介の順番は順不同です。



吉浜崇浩氏



本田哲也氏



砂川拓也氏



豊里友作氏



湧川農氏と御家族

「平成28年度沖縄におけるインバウンドの農林水産物・食品の消費及び農泊の実態調査」について

1. 調査の概要

沖縄総合事務局では、以下のとおり、①クルーズ船利用者及び農林水産物直売所等に来訪するインバウンド（訪日外国人旅行者）を対象に、農林水産物・食品の消費実態や関心についてアンケート及びヒアリングを実施し、今後の沖縄におけるインバウンド向けの農林水産物・食品の消費拡大や輸出の可能性についての調査を実施しました。併せて、②農泊の受入農家等を対象に、インバウンドの受入れについてのアンケートを実施し、農泊に対するニーズについて取りまとめましたので、調査結果について紹介しています。



- 1 就任挨拶 内閣府特命担当大臣就任挨拶
- 3 特集 平成28年度沖縄農林水産業の情勢報告の公表について
- 5 特集 ふるさと名物応援宣言 ～地元の特産品を「地域ブランド」として情報発信～
- 7 仕事の窓1 独占禁止法教室 ～沖縄国際大学に行ってきました～
- 仕事の窓2 財政教育プログラムin伊原間中学校
- 8 仕事の窓3 管内経済情勢報告（平成29年8月）～管内経済は、拡大している～
- 10 仕事の窓4 「第12回食育推進全国大会inおかげやま」が開催
- 11 仕事の窓5 GAP（農業生産工程管理）に関する講演会
- 12 仕事の窓6 地域未来投資促進法沖縄ブロック説明会
- 仕事の窓7 「2017年版経済産業省関係白書説明会」を開催しました
- 13 仕事の窓8 豊崎に商業活性化施設が誕生 ～トヨプラ落成式～
- 仕事の窓9 沖縄県バス協会を「一般貸切旅客自動車運送適正化機関」に指定しました。
- 14 仕事の窓10 自賠責制度PR月間について ～免許よし！ヘルメットよし！自賠責は！？「OK！」～
- 16 仕事の窓11 「白タク」は違法であり、危険です！
- 17 仕事の窓12 『海の月間』について ～海への理解を深めていただくための取り組みを行いました～
- お知らせ 移動相談会の御案内
- 18 なかゆくい 沖縄のダムまつりを巡る
- 20 お知らせ 子ども見学デーを開催しました

この作品は、今年の「海の月間」（7月1日～31日）行事の一環として実施された「中学生海の絵画コンクール」（主催：公益社団法人沖縄海事広報協会、後援：沖縄総合事務局）の金賞受賞作品です。沖縄県内の中学校から102点の応募作品があり、その中から選ばれました。

作者の飯森さんには、7月21日に開催された「平成29年『海の日』海事関係功労者表彰式」で沖縄総合事務局長賞が授与されました。

なお、金賞は2年連続で港川中学校の生徒さんが受賞しています。



作者 浦添市立港川中学校
2年 飯森晴香

表紙写真

本誌のタイトルについて

群星（むりぶし）とは、沖縄の方言で「群星（すばるぼし）」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。

ふるさと名物 応援宣言



～地元の特産品を「地域ブランド」として情報発信～

中小企業庁では、市町村が「ふるさと名物」を宣言し、「地域ブランド」の育成・強化のために地域ぐるみで取り組むことを推奨しています。現在、全国で125市区町村が127の宣言を行っています。

市町村が、「ふるさと名物応援宣言」を行うと、地域資源活用事業計画の補助金の優先採択や、ふるさとプロデューサー育成事業への優先参加、中小企業庁のポータルサイト「ミラサポ」での情報発信といった優先措置を受けることができます。（「ふるさと名物応援宣言」が中小企業庁の基準に合致することが必要です。）

「地域産業資源」（以下「地域資源」という。）は、地域の中小企業者が共通して活用することができ、他地域の企業との差別化を図り、商品やサービスの付加価値を高めるための重要な要素となるものです。

そのため、地域資源あるいはこれを活用した商品などのブランド化により、当該地域資源を核とした地域産業の付加価値が高まり、地域経済の自律的な好循環をもたらしします。

こうした好循環を実現するためには、地域資源を活用した「地域ブランド」づくりについて、基本的な考え方や取組みの方向性を、地域の幅広い関係者（事業者、支援機関、住民など）が共有し、互いに連携しながら、域内外に対して発信していくことが重要です。

ふるさと名物 応援宣言について

そこで、地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となりうる市町村（特別区を含む。以下同じ。）が旗振り役であるいは後見役となつて、こうした地域を挙げた取組みを推進していくことが期待されます。

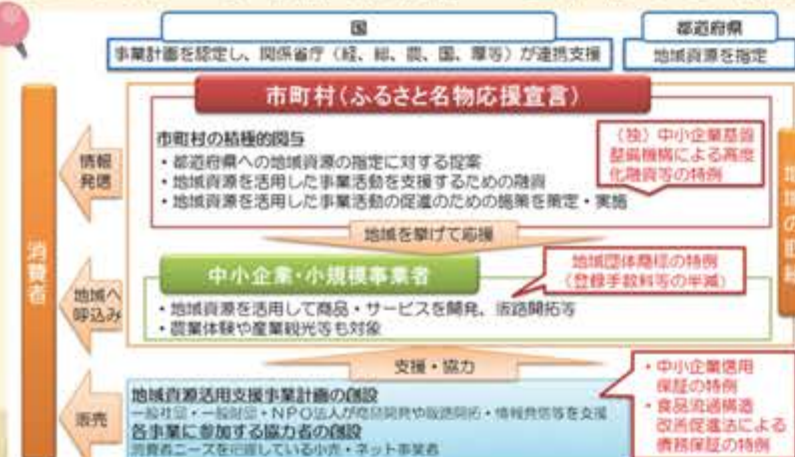
こうした観点から、市町村において、地域を挙げて支援を行う「ふるさと名物」（地域資源を活用した商品・サービス（群）を特定し、「ふるさと名物応援宣言」として、積極的な情報発信及び地域を挙げた取組みを牽引すること）を促進します。

これにより、多様な事業者を巻き込み、地域ぐるみの継続的な取組みを通じ、「地域ブランド」の育成・強化を図り、地域の売上や雇用の増大、地域経済の好循環につなげます。

沖縄管内では、名護市、読谷村、恩納村が「沖縄リゾートウェディング応援宣言」（平成28年1月20日）、久米島

町が「沖縄県久米島町で取水される海洋深層水を活用した商品・サービス」（平成29年2月27日）について、「ふるさと名物応援宣言」を行っています。

「ふるさと名物応援宣言」による 支援策の全体



2. 調査結果の概要

① 農林水産物・食品の消費実態調査

○ 購入商品について

購入した商品の情報の入手先では「店頭」が最も多く、次いで「家族・友人・知人」の順となり、「ポータルサイト」や「フェイスブック等SNS」などの情報よりも、実際に沖縄の農林水産物・食品を店頭で見た際の情報を優先する傾向となり、商品の購入理由では、「沖縄らしい」と「おいしい」が多くなりました。

商品の購入理由



また、購入しなかったが購入しなかった商品については「石垣牛」、「刺身」、「果物」などの生鮮食品が多くを占めており、その理由としては、「自国に持ち込めるか分からない（検疫）」の割合が最も高く、検疫に関する知識不足が主な購入阻害要因となるケースが多く、他の理由では「運搬中に商品の破損のおそれがある」、「外国語表記がない」、「長持ちしない（賞味期限が短い）」などがありました。

一方、購入時に不便に感じた点では「Wi-Fi 環境がない」、「外国語表記がない」の割合が高く、他の理由では、「自国に持ち込めるか分からない（検疫）」、「免税が受けられない」などの理由がありました。

また、食品購入で良かった点は「サービス面」が最も高く、次いで「商品の評価」、「接客面」と接客面で高評価となりました。

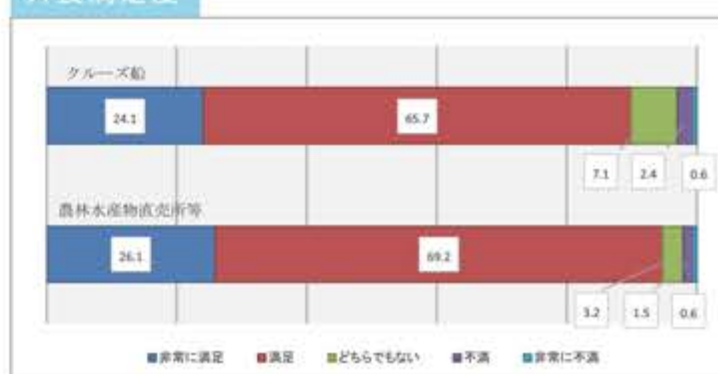
困った点・不便な点では「多言語対応」が突出しており、「通訳のスタッフが少ない」、「中国語や英語での説明書がない」などの意見もありました。

○ 外食について

外食した品目では「海鮮料理」、「麺類」、「石垣牛料理」の割合が高く、満足度は非常に高くなっています。

また、外食で良かった点は「サービス面」が最も高く、次いで「味の評価」となり、新鮮、材料が良いなどの質への評価が高くなりました。一方、困った点・不便な点では、「多言語対応」が突出して高く、「翻訳メニューのある店が少ない」、「言葉が通じなかった」などの意見がありました。

外食満足度



○ 農山漁村体験の意向

沖縄での農山漁村体験についての意向は、約6割が農山漁村での体験をしたいと回答がありました。そのうち関心のある体験は「地元の食材を使った料理体験」が最も高く、次いで「農家民宿」、「農家レストラン」となり、農山漁村体験への関心が高いことが分かりました。

② 農泊の受入れをしている農家の現状と課題

インバウンドを受け入れている地域は、大宜味村、読谷村、名護市など複数ありますが、全体では年間約500名程度の受入れでした。

受入れの際に提供している体験では、「農業体験」や「自然体験」など日本人客と同じ体験に加え、「農村地域の伝統文化体験」や「沖縄料理体験」などが人気となりました。

インバウンドを受け入れるにあたり困っていることは、生活習慣などのマナーについて理解してもらえないことやルールを守らないことなど言語、コミュニケーション面において多くあるということが分かりました。また、インバウンドを受け入れるための工夫としては、「施設・料理等への多言語表記」が最も多く、タブレット等の機器の導入や簡易な会話集の導入などの工夫が見られました。

※ 冒頭で記載したこの他のトピックス及び他の部分においても、多様かつ最新の地域情勢等を紹介しています。

6月27日、沖縄国際大学において、独占禁止法教室を開催しました。

独占禁止法教室では、公正取引委員会の役割や独占禁止法、下請法、消費税法、独占禁止法、下請法、消費税法などの特許法、下請法、消費税法などの所管法律の内容や過去の違反事例について説明をしました。

また、シミュレーションゲームでは、学生がそれぞれ携帯電話販売店3社の販売店員になって競争



シミュレーションゲームの様子



「どっくん」公正取引委員会マスコットキャラクター

独占禁止法教室 ～沖縄国際大学に 行ってきました～

を体験したり、カルテルを行った企業に立入検査を行う寸劇に参加するなど、体験を通して市場における競争の必要性を学びました。

学生からは、「談合の疑いのある企業への立入検査の実演を見ることで、公正取引委員会がどのような方法で立入検査を行っているのか、より深く知ることができた。」などの意見が寄せられました。



講義の様子

総務部公正取引室では、独占禁止法の役割や意義を理解してもらうため、中学校、高等学校、大学の授業に講師を派遣しますので、お気軽にご連絡ください。

総務部公正取引室

098-866-0049



講義を行う宮里審理室長

（財務部若手職員）の補助

7月12日に石垣市立伊原間中学校の全校生徒40名を対象として「財政教育プログラム」～日本の財政を考えよう～を開催しました。

当プログラムは、小中高生へのニュートラルな主権者教育の一環として、財政を通じて自分たちの国の将来について判断できる知識を育むため、財務省・財務局・沖縄総合事務局財務部が学校と協働で実施する財政教育授業です。

授業では講師の宮里審理室長から、「LIFE（自分の将来のため）に日本の未来を考える」と題して、身近な公共サービス、公共施設（新石垣空港、新県立八重山病院など）を紹介し、それを支えるための会費として税金が集められていること。そして、財政を含めた社会の課題が将来の自分に大きく関わってくることを説明しました。



グループワークの様子

参加した生徒からは「財政について関心をもてた」という感想があり、学校の先生からは「今回のグループワークは回答を導き出すものではなく、それぞれの考え方を出し合い、グループで意見をまとめるという参加型の授業で、生徒にはいい経験になった」との意見がありました。

財務部では、社会の仕組みや財政・金融について、より深い関心を持つきっかけとなるように、今後財政教育プログラムを展開してまいります。

財務部財務課

098-866-0091

仕事の窓

【財務部】

財政教育プログラム in伊原間中学校

沖縄リゾートウェディング応援宣言

【内容】

- 観光名所、景勝地で行われる挙式やフォトウェディングに協力します。
- 挙式の際の料理メニューや引出物・引菓子などにも、積極的に地元ならではの農水産物、工芸品などを活用することで“沖縄らしさ”を演出します。
- また、挙式後のアフターウェディングとして参列者や家族が楽しめる観光ツアーや体験観光メニューの提案や開発を行い、滞在中全ての時間が楽しい思い出となるようなウェディングを提供します。
- さらに、新婚のみならず、人生の特別な記念日にあわせて挙式を行うアニバーサリーウェディングなど何度も来てもらえるような新たなリゾートウェディングのかたちを推進します。

美しいビーチ、リゾートウェディング、グチャペルが集中する名護市、読谷村、恩納村が地域を一体的に支援するため、全国でも初めてとなる複数の自治体による共同宣言となりました。



沖縄リゾートウェディング

沖縄県久米島町で取水される 海洋深層水を活用した商品・サービス

【内容】

- 海洋深層水を利用した商品として、水産物では、クルマエビ、海ブドウの生産量が日本一であり、加工品では食品（塩、飲料水）及び化粧品などがあります。これらの商品群に久米島海洋深層水マークを貼付することで、品質管理・ブランド化を進め、他商品との差別化を図ります。
- また、施設の見学及び体験プログラムの開発をはじめ、観光パンフレット及びWEBプロモーションなどによる全国的なPRを行います。
- さらに、物産展への出展をはじめ販路拡大について支援を行っていきます。

久米島町では、10年以上にわたり、海洋深層水（水深612m、日量1万2千トン）を利用して、町の活性化を進めています。海洋深層水を多段階利用する新たな事業を支援することで、地域創生を図る「久米島モデル」の実現に向け取り組むことを宣言しました。



久米島海洋深層水を活用した商品

お問い合わせ先

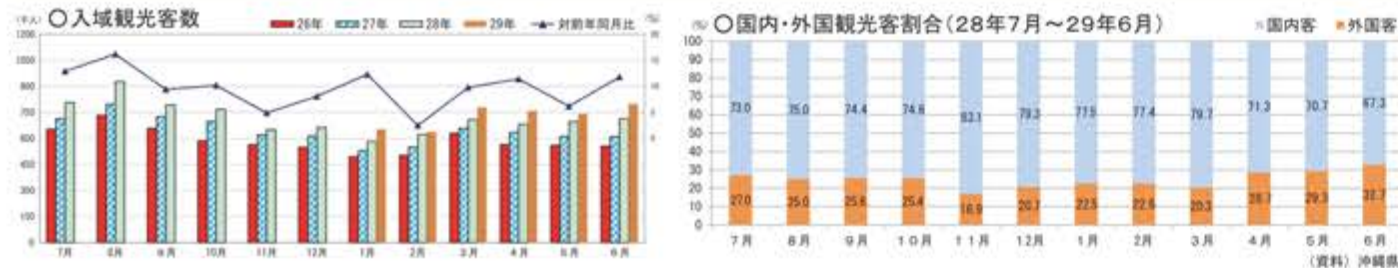
沖縄総合事務局
経済産業部中小企業課
担当：石原、宮里
TEL：098-866-1755

中小企業課としても、ふるさと名物応援宣言による「地域ブランド」づくりを積極的に協力・支援していきます。

観光

前回 (29年4月判断)	今回 (29年7月判断)	前回との比較
着実に回復している	拡大している	▲

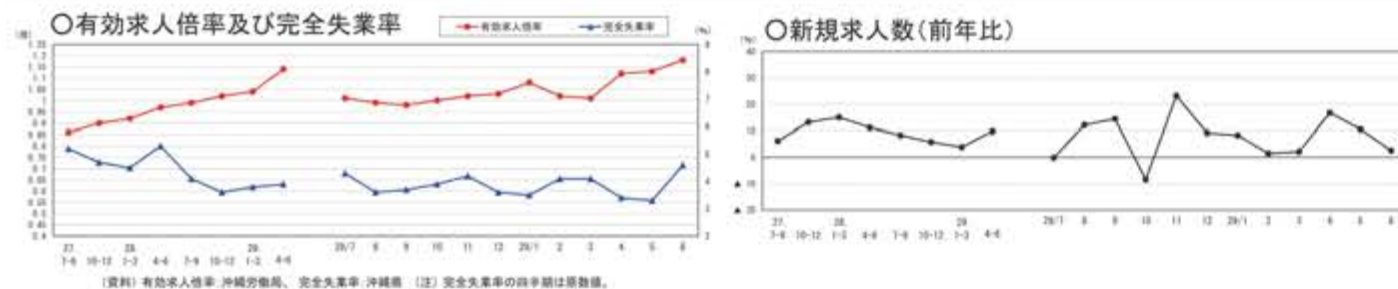
入域観光客数は、国内客は個人旅行を中心とした好調な旅行需要により増加しており、外国客は航空路線拡充及びクルーズ船の寄港数の増加などにより大幅に増加していることから、44ヶ月連続で単月の過去最高を記録している。ホテルの客室稼働率、客室単価はともに前年を上回っている。このように、観光は拡大している。



雇用情勢

前回 (29年4月判断)	今回 (29年7月判断)	前回との比較
改善している	改善している	→

新規求人数は、サービス業、医療・福祉業など多くの業種で前年を上回っており、新規求職者数（新規求職申込件数）は前年を下回っていることなどから、有効求人倍率（季節調整値）は上昇している。このように、雇用情勢は改善している。



【その他の項目の判断】

設備投資



29年度の設備投資計画額を法人企業景気予測調査(29年4～6月期)でみると、全産業では前年度を58.2%上回る見通し(石油・石炭、電気・ガス・水道を除くと77.4%上回る見通し)となっている。

企業収益



経常利益を法人企業景気予測調査(29年4～6月期)でみると、29年度上期は、全産業で5.2%の減益見込みとなっている。29年度下期は、全産業で4.8%の増益見通しとなっている。29年度通期は、全産業で0.7%の減益見通しとなっている。

企業の景況感



企業の景況判断BSIを法人企業景気予測調査(29年4～6月期)でみると、全産業では、「上昇」超から「上昇」と「下降」が均衡している。業種別にみると、製造業では、「下降」超幅が拡大している。非製造業では、卸売・小売で「上昇」とする企業が増加しているものの、建設で「下降」とする企業が増加していることなどから「上昇」超幅は縮小している。

住宅建設



新設住宅着工戸数は、持家、分譲で前年を下回っているものの、貸家で前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

公共事業



公共工事前払金保証請負額(29年4～6月累計)は、前年を上回っている。

生産活動



製造業の生産活動は、食料品は前年を上回って推移している。窯業・土石、金属製品は公共工事や民間工事の需要を背景として前年を上回っている。化学・石油製品は前年を下回っている。

管内経済情勢報告

(平成29年8月)

～管内経済は、拡大している～



【財務部】

【総括判断】

前回 (29年4月判断)	今回 (29年7月判断)	前回との比較
着実に回復している	拡大している	▲

個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が堅調に推移するなど、緩やかに拡大している。観光は、引き続き国内客や外国客が増加し、入域観光客数は44ヶ月連続で単月の過去最高を記録するなど、拡大している。雇用情勢は、有効求人倍率（季節調整値）が上昇するなど、改善している。

(注) 29年7月判断は、前回29年4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断している。

先行き

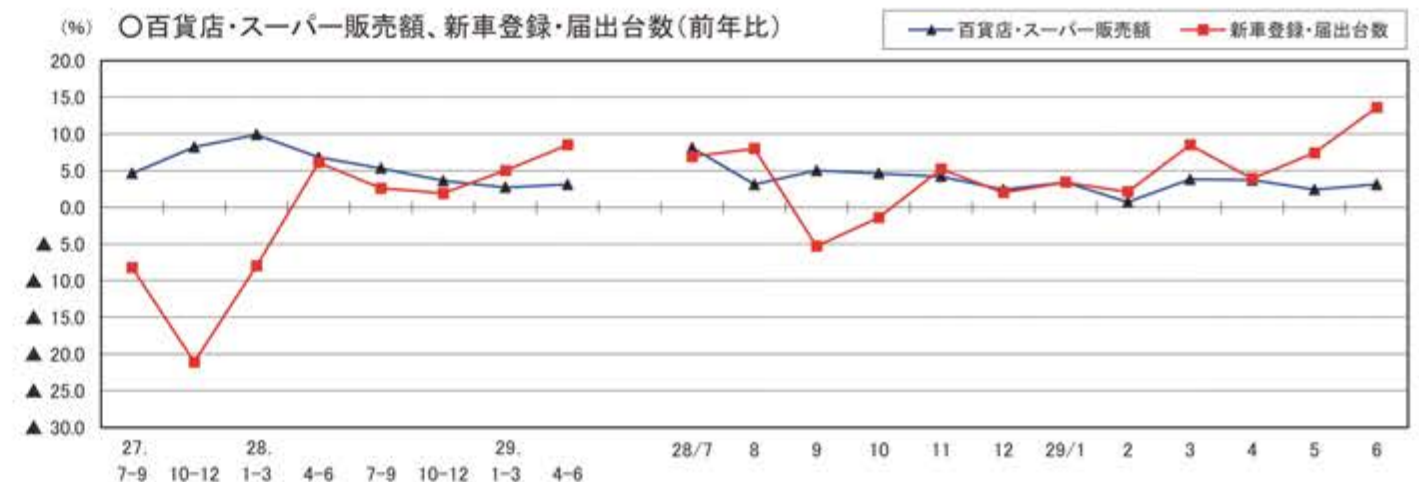
先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、沖縄振興策などを背景として景気が拡大していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れリスク、為替や労働需給の動向などについて留意する必要がある。

【主要項目の判断】

個人消費

前回 (29年4月判断)	今回 (29年7月判断)	前回との比較
回復している	緩やかに拡大している	▲

百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が堅調に推移しているほか、店舗改装効果などから前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果のほか、ファストフードが堅調なことなどから前年を上回っている。新車販売台数は、新型車効果などから前年を上回っている。中古車販売台数は、販売促進効果などから前年を上回っている。家電販売額は、エアコンなどが低調であるものの、携帯電話などが好調であることから前年を上回っている。このように、個人消費は緩やかに拡大している。



(資料) 百貨店・スーパー販売額:経済産業省、沖縄総合事務局 新車登録・届出台数:沖縄県自動車販売協会
(注1) 百貨店・スーパー販売額は全店ベース。
(注2) 新車登録・届出台数はレンタカー除く。

GAP (農業生産工程管理) に関する講演会

沖縄総合事務局では、これまで、GAPの取組状況や重要性について、沖縄県、市町村、関係団体などへの周知活動を推進してきたところであり、6月から7月にかけて、将来の沖縄農業の担い手となる農業高校などに対して、GAPの重要性を伝えるための講演会を開催しました。

【農林水産部】



今後の農業を担う若い人材が、早いうちから国際水準のGAP (農業生産工程管理) に取り組むことが重要であることから、農林水産部では、6月から7月にかけて、県内の4つの農業高校 (中部、南部、八重山の各農林高校、宮古総合実業高校) の生徒、農業大学の学生を対象に、GAPへの関心を深めてもらうための講演会を開催しました。

講演会は、県内でGAP推進に取り組まれている農業生産法人 (株) みやぎ農園の御協力のもと、講義と実習の2部構成で行いました。

第1部の講義では同法人のGAP評価員※である小田哲也氏から、GAPに持続的に取り組むことで、「食品の安全」、「環境の保全」、「労働安全の確保」に繋がることなどについて講話していただきました。

第2部の実習では、生徒、学生がチェックシートを用いて、ほ場における農業散布時の安全対策などの評価や、資材保管庫、出荷場の各作業場での評価を試してもらいました。評価後は小田氏から各作業場における必要な取組などについて解説していただきました。

これまで5校で開催した講演会には計約300人と多くの参加があり、生徒からは、「実際にチェックして改善すべきことが分かった」、「学校で取り組むことで、就農した時に役に立つ」などの感想

●生産者にとって
適切な農場管理 (食の安全、環境保全、労働安全) ができます。
仕事の効率化による経営改善や

GAPのメリット

「GAPをすすめる」とは	農業者がGAPの取組を自ら実施すること。認証の有無は関係ない。
「GAP認証をとる」とは	第三者機関の審査によりGAP認証を受けること。GAPを実施していることが客観的に証明される。

GAP: Good Agricultural Practice (農業生産工程管理) とは

098-866-11628

GAPは、農業生産工程管理と訳され、「工程管理」に基づく品質保証の考え方を農業現場に導入したもので、農場でできる可能性のある様々なリスク (食品事故、環境破壊、農作業事故など) を未然に防ぐ農場管理の手法です。

※「GAP評価員」とは、(一社) 日本生産者GAP協会が実施する「日本GAP規範に基づく農場評価制度」による評価員試験に合格した者。

農林水産部経営課



GAPに関する講演会の様子 (6/2 中部農林高校)

098-866-11653

●流通業者・消費者にとって
一定の安全性が確保された農産物を安心して購入することができま

●農産物の安全などに関する確認を独自に行う必要がなくなり、効率的な調達業務が実現できます。

農林水産部生産振興課

品質向上、技術の継承に役立ちます。

・GAP認証を受けることで「信頼できる農場」であることを客観的にアピールできます。

・2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村などで提供される食材として出荷できます。(食料調達会社と契約する必要あり)

「第12回食育推進全国大会 in おかやま」が開催

6月30日～7月1日の2日間、岡山県岡山市において「第12回食育推進全国大会 in おかやま」が開催されました。同大会に沖縄管内における食育の取組のPRを目的にブースを出展しましたので、その様子を御紹介いたします。

【農林水産部】



食育推進全国大会とは

食育推進全国大会 (以下「全国大会」) は、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する6月の「食育月間」における全国規模の行事です。

第12回目を迎えた岡山市での全国大会は、「食育は人づくり! みんなで ええ『食』を次世代へ」をテーマに、岡山県、岡山市及び第12回食育推進全国大会岡山市実行委員会が主催し、岡山コンベンションセンター、ジップアリーナ岡山の2会場において、107のブースなどが出展され、2日間の入場者数は2万人余りにのびりました。

岡山コンベンションセンター会場

岡山コンベンションセンターの開会式には主催者として細田農林水産大臣政務官、大森岡山市市長、来賓として山形県参議院議員他が出席し、食育活動表彰※が行われました。この表彰式において、沖縄県からは琉球新報社が教育関係者・事業者部門で消費・安全局長賞を受賞し、その授与が行われました。

ジップアリーナ岡山会場

ジップアリーナ岡山では、当局も出展し、農林水産省や、民間企業、岡山市、福島県などの様々な団体による各ブースでのミニ講演会、紙芝居など工夫を凝らしたイベントが行われました。

当局は沖縄県、糸満市、(株)琉球新報社、名桜大学などの食育推進活動を紹介するパネルの展示や沖



賞状を受け取る 琉球新報社の玉城綾乃氏

また、さかなクン (東京海洋大学名誉博士) やオリンピックメダリスト、料理研究家などによる講演会などが開催されました。



沖縄総合事務局ブースの様子

縄県栄養士会による沖縄版の食育バランスガイドの説明、市町村作成の食育カレンダーなどのパンフレットの配布を行いました。

また、沖縄県漁業協同組合連合会の出展ブースにおける沖縄県栄養士会と連携した県産モズクのPRが、来場者から好評を博しました。

※食育の推進には、農林漁業者を初めとした食育関係者による取組が全国で幅広く行われることが重要です。農林水産省では食育関係者を対象として、その功績を称え、その取組の内容を広く国民に周知し、その普及を目的として表彰を行っています。

農林水産部食料産業課

098-866-11673

地域未来投資促進法 沖縄ブロック説明会

近年、地域経済の事業環境変化に伴い、産業・雇用の担い手が多様化し、観光、ものづくり、農林水産業など、地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組が全国で活発化しつつあります。そうした中、経済産業省では、地域経済における稼ぐ力の好循環を実現するため、地方公共団体が行う地域独自の強みを活かした、地域経済を牽引する事業を応援する取組を活発化することを目的に、従来の企業立地促進法を大幅に改正した「地域未来投資促進法」の施行に向けた準備を進めております。当部では、本法律の周知及び活用促進を目的として、7月3日に自治体向け説明会を開催いたしました。当日は県内自治体職員約80名が参加し、本法律の概要及び具体的な活用方法について、経済産業省担当者などから説明いたしました。

本法を活用することにより、自



地域未来投資促進法沖縄ブロック説明会の様子

治体及び事業者は人材や設備投資、財政面等に関する多様な支援を受けられるため、当部では、本法の活用を通して自治体及び事業者と一体となってその取組を活発にし、地域経済における稼ぐ力の好循環の創出に努めてまいります。

「2017年版経済 産業省関係白書説明会」 を開催しました

経済産業部地域経済課・中小企業課は、7月7日、「2017年版経済産業省関係白書説明会」を開催しました。当日は、中小企業者、支援機関、金融機関、行政など多くのの方々にご参加いただきました。

「2017年版中小企業白書・小規模企業白書」について、中小企業庁事業環境部企画調査室 政策調整専門官 清村和貴氏より、中小企業・小規模事業者のライフサイクルと生産性、雇用環境と人



説明会の様子

手不足に関する現状分析と、起業・創業、事業承継、新事業展開による成長及び人材確保の取組について、説明を行いました。

また、「2017年版ものづくり白書」について、経済産業省製造産業局参事官室ものづくり政策審議室課長補佐 安藤尚貴氏より、製造現場で顕在化する人手不足などの課題の分析や、その課題解決のためITやIoTなどデジタルツールなどを積極的に活用している先進事例の紹介等を交えて説明を行いました。



中小企業庁 清村氏

豊崎に商業活性化 施設が誕生

「トヨプラ落成式」

7月24日、豊見城市豊崎に、豊崎・美らSUN会と有限会社コノ街デザインが連携して整備した「TOYOSAKIプラットフォームセンター（トヨプラ）」がオープンしました。平成28年度の経済産業省中小企業庁「地域・まちなか商業活性化支援事業補助金（地域商業自立促進事業）」を活用した事業です。

地域住民へのアンケート調査などから、豊崎地域の課題として「地域交流」「観光資源・施設」「人材の確保」があげられたため、これらの課題を解決するための施設を整備しました。

建物は地上4階建となっており、1・2階は保育所や学童保育機能を有する子育て支援施設を整備し、子育てしながら働きやすい環境を提供します。3階は会議室やコワーキングスペースだけでなく、Wi-Fiや受付も備えており、起業を目指す方や新しい働き方を求めるクリエイターなどの方々が利用できます。4階は地域交流スペースとなるカフェラウン

ジやコンテンツ作成の場として写真や動画撮影スタジオを整備し、地域情報の発信や地域住民の交流拠点とする予定になっています。

トヨプラでは今後、地元住民と入居企業や地元住民同士の交流イベントやセミナーを開催することにより、豊崎地域に新しい人の流れを生み出し商業の活性化に繋げることとしております。

中小企業庁では、商店街や通り会等を基盤として、地域経済の持続的発展を図るため、外部環境の変化や地域住民ニーズを踏まえた公共性の高い取組を支援しております。今



落成式でのテープカットの様子

沖縄県バス協会を「一般貸切 旅客自動車運送適正化機関」 に指定しました。

平成28年1月15日に長野県軽井沢町で発生したスキーバス事故を受け、国土交通省に設置された軽井沢スキーバス事故対策検討委員会において、このような悲惨な事故を二度と起こさないという強い決意のもとに、同年6月3日に「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」がとりまとめられ、平成28年12月2日には、監査機能の強化と自主的改善の促進に向けて、「適正化事業実施機関」が巡回指導等を行うための負担金徴収制度の創設等の措置を講ずる「道路運送法の一部を改正する法律」が成立しました。

これを受け、「一般社団法人沖縄県バス協会」から、道路運送法第43条の2第1項及び同法第43条の9に基づき、「一般貸切旅客自動車運送適正化機関」の指定申請がなされ、平成29年6月26日に指定しました。

8月の沖縄本島の事業者に対する巡回指導を皮切りに、沖縄県内の貸切バス事業者に対して順次各営業所の巡回指導を行っていき、悪質な事業者を排除し、貸切バス事業の適正化を図っていきます。

沖縄に来られる国内外の観光客の皆さんが、更に気持ちよく観光できるようになっ



左：嘉村 運輸部長 右：合田 沖縄県バス協会会長

自賠責制度PR月間について

～免許よし！ヘルメットよし！自賠責は！？「OK！」～

チェックしてください！ 自賠責の有効期限

バイクのナンバープレートに貼られたステッカーで簡単に確認できます。

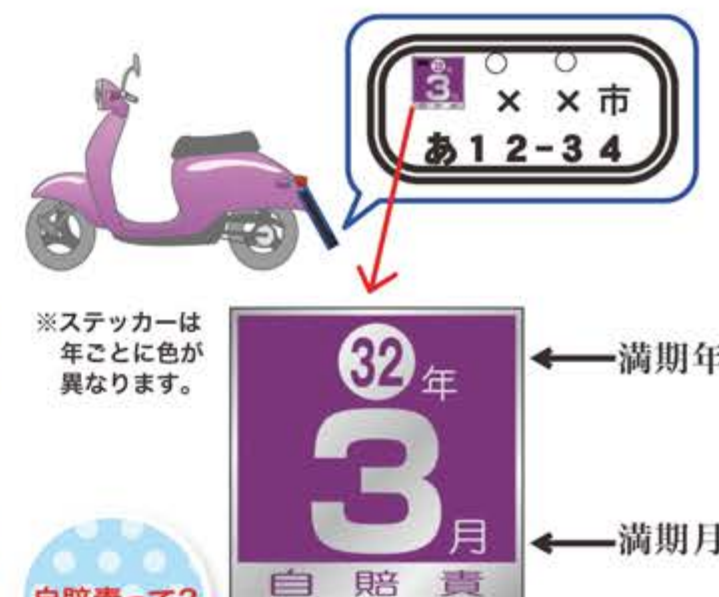
もし、こんなことがあなたに起こったら…



もし、自賠責保険・共済に加入せずに 運行した場合は…

1年以下の懲役または50万円以下の罰金(自動車損害賠償保障法)、および違反点数6点となり、免許停止(道路交通法)などの処罰の対象となります。もし、人身事故を起こした場合は多額の損害賠償金を全額、自分で支払わねばなりません。

(例)平成32年3月が自賠責の有効期限



自賠責って？

- 「自賠責」は、交通事故の被害者を救済するとともに、万が一加害者となってしまった場合に備えるための保険です。
- 「自賠責」への加入は、クルマやバイクを持つ人、使用する人、すべての人の義務です。

自賠責保険料・共済掛金

平成29年4月1日現在

平成29年4月1日現在

	契約期間	60ヶ月	48ヶ月	36ヶ月	24ヶ月	12ヶ月
	車種					
沖縄本島	原動機付自転車 (125cc以下)	5,660円	5,540円	5,410円	5,280円	5,150円
	軽二輪自動車 (125cc～250cc)	5,840円	5,680円	5,520円	5,360円	5,190円
沖縄離島	原動機付自転車 (125cc以下)	5,660円	5,540円	5,410円	5,280円	5,150円
	軽二輪自動車 (125cc～250cc)	5,840円	5,680円	5,520円	5,360円	5,190円

注) 原動機付自転車以外の保険料・共済掛金については、損害保険会社・共済協同組合にお問い合わせください。

自賠責保険・共済の有効期限切れバイクの監視活動

小さくて小回りのきくバイクは手軽な移動手段としてよく利用され、特に維持費が安い軽二輪(排気量250cc以下のバイク)・原動機付自転車(以下「原付」とする)が人気です。しかし軽二輪・原付は車検制度が無く、自賠責保険・共済の有効期限切れに気付かず使用されることが見受けられます。

沖縄総合事務局では、大型商業施設や団地等の駐輪場を中心に、自賠責保険・共済の期限切れの疑いがあるバイクに注意喚起を行っており、平成28年度は22,968台中、1,627台(約7%)に自賠責保険有効期限切れの疑いがあるとして、注意喚起を行いました。

自賠責保険・共済制度について、従前より広報・啓発に努めているものの、依然として無保険・無共済車により事故が後を絶たないことから、より積極的に広報することとしております。



自賠責PR月間

国土交通省及び沖縄総合事務局運輸部では、平成29年9月1日から9月30日までの1ヶ月間を「自賠責制度PR月間」と定め、以下の広報活動を行います。これにより自賠責保険・共済への加入促進を図り、交通社会のセーフティネットとして自賠責保険・共済が果たす役割の認知度の向上に努めます。

①ポスター・リーフレットによる広報の実施

地方公共団体、公共施設等にポスターの掲示を依頼し、併せてリーフレットを配布し、自賠責保険・共済への加入を呼びかけます。

②関係業界等と連携した街頭啓発活動の実施

(社)日本害保険代理業協会と共同で自賠責制度について街頭PRを実施します。

③監視活動の推進

大型商業施設、駅前駐輪場等にて街頭監視活動を積極的に実施し、有効期限切れやステッカー(自賠責保険・共済標章)が貼付されていない原付や軽二輪車には、加入状況を確認させる等の注意喚起をします。

★自賠責の加入は強制です！でも、簡単に入れます

各損害保険会社・共済共同組合をはじめ、クルマやバイクの販売店や郵便局で加入できます。250cc以下のバイクなら、一部コンビニやインターネットでも、簡単な手続きで加入できます。

詳しくは！

自賠責保険ポータルサイト

検索

11

「白タク」は
違法であり、
危険です！

今年5月初旬、増加傾向にあるクルーズ客をターゲットに、白タク（国の許可を受けていないにもかかわらず、有償で旅客運送をする行為。通常、白いナンバープレートである自家用車を使用していることからそう呼ばれている。）が行われているとの報道がありました。

通常のタクシーは、各車両に確

実に損害を弁償できる保険の加入や、乗務員が2種免許を保有しているプロのドライバーであること、日々の運行前にアルコールチェックを実施すること、車両の点検は毎日実施することなどが義務づけられており、安全面が担保されています。

しかし、白タクに関しては保険の加入内容が不明であり、場

「白タク」での旅客運送は違法であり危険です！

ナンバープレートをチェック！

白色のナンバープレートは違法！

白タクを利用した場合、警察から職務質問を受ける場合があります！

沖縄 500
500-00-00

沖縄 50
50-00-00

白タクの事故でけがをした場合、補償が受けられない恐れがあります！

白タクは安全面に不安

項目	タクシー	白タク
運転手	プロドライバー	プロでないドライバー
運転手のアルコールチェック	あり	なし
事故時の責任	会社が対応	運転手任せ
保険補償	搭乗者保険 500万円以上	なし

安全・安心なご旅行は、国の許可を受けたタクシーをご利用ください！

○沖縄総合事務局運輸部
○沖縄総合事務局宮古運輸事務所
○沖縄総合事務局那覇運輸事務所
○沖縄総合事務局八重山運輸事務所

合によって、損害を十分に弁償できない内容になっていることも可能性としてあります。

また、白タクドライバーは普通免許で、お客様を乗せて運転す

るには甚だ未熟であり危険であります。重ねて、運転前のアルコールチェックもされておらず、どのような健康状態であるかも不明です。

最近の外国人観光客数の伸びに乘じて、外国語をある程度話せる者が、犯罪であるとの認識もなく、安易に白タクに手を染めているようです。重大な交通事故が多数発生した場合、沖縄県全体の観光イメージが低下することも大いに懸念されます。

沖縄総合事務局運輸部では、沖縄県警察本部等関係機関と連携し違法で危険な白タク行為の撲滅に取り組んでいます。また、バス、タクシーにおける多言語対応など外国人観光客の受入環境整備についても促進して参ります。

白タクは違法であり危険です！

ナンバープレートをチェック！

白色のナンバープレートは違法！

白タクを利用した場合、警察から職務質問を受ける場合があります！

沖縄 500
500-00-00

沖縄 50
50-00-00

白タクの事故でけがをした場合、補償が受けられない恐れがあります！

白タクは安全面に不安

項目	タクシー	白タク
運転手	プロドライバー	プロでないドライバー
運転手のアルコールチェック	あり	なし
事故時の責任	会社が対応	運転手任せ
保険補償	搭乗者保険 500万円以上	なし

安全・安心なご旅行は、国の許可を受けたタクシーをご利用ください！

○沖縄総合事務局運輸部
○沖縄総合事務局宮古運輸事務所
○沖縄総合事務局那覇運輸事務所
○沖縄総合事務局八重山運輸事務所

【韓国語】 【英語】 【中国語（繁体）】 【中国語（簡体）】

【クルーズ客にチラシを配布しています】

12

『海の月間』について
海への理解を
深めていただくための
取り組みを行いました

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。「海の日」は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定されました。この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地において多彩な行事が展開されました。

当局においても「海事関係功労者表彰式」及び「中学生海の絵画コンクール受賞作品の展示」を行いました。

海事関係功労者表彰式

7月21日那覇市内のホテルにて平成29年「海の日」海事関係功労者表彰式を開催しました。

はじめに、国土交通大臣表彰を受賞した八重山観光フェリー（株）花城 吉治 取締役会長に対する表彰状の伝達式を行い、次いで、



受賞者全員にて記念撮影

海事関係事業の企業役員、従業員及び優良船員10名に対し沖縄総合事務局局長表彰の授与を行いました。また、「平成29年度 第54回中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局局長賞（金賞）受賞の港川中学校2年 飯森 晴香さんを始め、10名の中学生を表彰しました。

中学生海の絵画コンクール 受賞作品の展示

7月24日から28日にかけて、当局1階行政情報プラザにおいて、「中学生海の絵画コンクール」受賞作品（10作品）の展示を行いました。

会場には、ご来庁者をはじめ多くの方が訪れ、「海」をテーマに中学生が描いた力作を眺める光景が見られました。



展示の様子



伝達式の様子

中小事業者の皆様は、職場にお住まい、下請法や優越的地位の濫用についての疑問や質問にお答えします！

移動相談会の御案内

値引きされた！

発注した代金から5%引いたからね。

えっ？約束の金額と違いますよ～

社内検査が終わっていないから、まだ代金は支払えないよ。

今日が支払日なのに～

※同じ悩みを持つ方々と3社以上でお申し込みください。

代金を支払ってもらえなかった！



相談窓 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館6階 沖縄総合事務局総務部公正取引室 電話：098-866-0049

※電話や面談での相談にも対応します。秘密は守らせていただきますので、安心して御相談ください。

福地ダムまつり



県内最大の水がめである福地ダム(東村)において、福地ダム夏休み自然体験会が、7月16日(日)に開催されました。福地ダムまつりは、昭和62年に沖縄で最初に開催された歴史あるダムまつりです。



会場では、自然観察船(ゴンミキ号)による「湖面遊覧」や「カヌー体験」、「生き物観察会」、「ダム施設見学」、「川遊び」、

「丸太切り体験」、「ザリガニ釣り体験」などのイベントが行われ、多くの家族連れが楽しんでいました。

また、なかなか沖縄の川では経験できない「ザリガニ釣り体験※」は、昨年以上に盛況でした。残念ながら釣ったザリガニは外来生物であることから持って帰ることはできなかったのですが、飼えなくなったペットが自然に放たれ、生態系に悪影響を与えることを理解することが出来たのではないのでしょうか。

※外来生物として福地ダム湖から駆除されたアメリカザリガニを利用しており、再拡散の無いよう持ち帰りはお断りいたしました。

金武ダムまつり

世界で初めて台形CSG形式を採用した金武ダム(金武町)において、7月23日(日)に金武ダムまつりが開催されました。

会場では「ダム湖面遊覧」や「カヌー体験」、「流しモズク」に「漆喰シーサーづくり体験」などのイベントが催されました。流しモズクでは、参加者は金武町でとれたおいしいモズクを味わいました。



また、金武ダムまつりではスタンプラリーも開催され、4つのイベントに参加すると豪華な抽選会に参加することができ、午後の抽選会では、景品が当たるたびに歓声が聞こえるなど最後まで子供達が楽しんでいました。

また、金武ダムまつり会場第18回金武町青年エイサー祭りが開催されたことから、夕方からも来場者が絶えず大盛況のうちに終了しました。



漢那ダムまつり



全国に先駆け、生態系の保全に本格的に取り組んだ初めてのダムである漢那ダム(宜野座村)において、7月30日(日)に漢那ダムまつりが開催されました。

オープニングでは地元の「松田夢宝太鼓(まつだむほうだいこ)」による迫力あるエイサー、漢那小学校児童合唱団の元気な歌声で幕開けしました。



漢那ダムまつりは 沖縄のダムまつりの中でも最もイベントの数多いダムまつりで、会場では、「島ぞうり彫り体験」や「親子木工教室」、「丸太切り体験」、「ダムパネルクイズ展」、「漢那ダム生き物博物館」などの20のイベントが催され、中でも「カヌー体験」や「漢那ダムまるごと探検ツアー」が予約待ちがでるほど盛況でした。

外来生物

もともと生息していない地域に持ち込まれた動植物のことを外来生物といいます。外来生物は、もともとそこで生活していた生き物たちを食べたり、また、えさを横取りしたりするので、そこで生活していた生き物がいなくなってしまう。沖縄のダムでもペットとして飼育されているグッピー、パールダニオ、アメリカザリガニや釣りに人気があるオオクチバスなどの外来生物が増えています。そのためダム管理事務所ではそれらの外来生物の駆除を行っています。根絶にはいたっていません。飼っている外来生物がいる場合は絶対に「捨てない」、また、野外で外来生物が繁殖してしまった場合には、それ以上「拡げない」ことが大切です。



沖縄本島では、羽地ダム鯉のぼり祭りを皮切りに7ダム(羽地ダム、大保ダム、福地ダム、金武ダム、漢那ダム、倉敷ダム、安波ダム)でダムまつりが開催されています。

今回、7月末までに開催されました、羽地・大保・福地・金武・漢那ダムまつりを紹介します。

羽地ダム鯉のぼり祭り

羽地ダム鯉のぼり祭りは、ゴールデンウィークの5月6日(土)、7日(日)の両日に羽地ダム(名護市)において開催されました。

ここは、水力によって圧縮空気を作りダムの設備に有効利用するなど、先進的な技術開発を行ったダムです。

今年はあいにくの雨となりましたが、会場入り口では優雅に空を泳ぐ300匹余りのこいのぼりが、来場者を迎え入れてくれました。

会場では「カヌー体験」や「ウナギのつかみ取り大会」、「羽地大川生き物探検」、「羽地ダム施設の見学」などが催され、また、特設ステージにおいては、みんなの一票でグランプリが決定する「手作り鯉のぼり総選挙」や舞台イベント等が行われ、訪れた人たちはダムの魅力を満喫していました。



大保ダムまつり



やんばるの玄関口である大宜味村において、大保ダムまつりが、7月8日(土)に開催されました。

会場では、「湖面カヌー体験」をはじめ、「学習の川遊び」や、「陶芸教室」が催された他、環境学習・自然体験交流活動の拠点となっている大保ダムの資料館「ぶながや館」では、「シーランプ作り」や大宜味村の村木シークワァーサーの木で作る「My箸づくり」などの体験イベントが催されました。

特に子供達に人気の学習の川遊びでは、楽しそうに遊ぶ子供たちであふれかえり、水のすべり台や親子で川の生きもの探しなど水とのふれ合いを楽しんでいました。

夕方からは大宜味村の塩屋湾をろうそくの明かりで照らすイベント「キャンドルナイト in サーベイ」が開催され、美しい月夜の下、塩屋湾を囲むように四千五百本のキャンドルが灯されると、会場は幻想的な空間に包まれました。

訪れた人々は塩屋湾の景色を写真に撮るなど、涼をとりながら思い思いの夏の夕暮れ時を楽しんでいました。





つりゲームに挑戦



統計クイズに挑戦!



自転車発電のブース



ロボットプログラミング体験



森と海からの贈り物。コマ回しに挑戦



けんぞう君と一緒に遊びながら学ぼう“食育”。
じゃんけん大会盛り上がりました!



島野菜の
名前当てクイズに挑戦!



新鮮なお魚が届くまでのブース



ハーベスターの
運転席に乗りました!



バリアフリー体験



自動車の安全について学ぶブース



多くの子どもたちが
来てくれました!



バリアフリー体験



一日子ども局長と局幹部との記念写真!



地盤液状化現象の実験



紙飛行機作りに挑戦!



「紅型」手染め体験!



国の予算シミュレーション中!



ペットボトルエコライト作り



超小型モビリティに同乗体験!



バスの運転手を体験!



災害復旧について学びました



トラクターの
操縦を体験!



クイズゴール



行政相談クイズに挑戦しました



災害対策車の中に入りました!



「ラーミン」との
記念写真!

子ども見学デー

を開催しました!

もみすり体験。
テレビ局が取材!



フラワー
アレンジメント
ミニ教室

子ども見学デー 平成29年8月2日(水)

沖縄総合事務局では、子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会を設けるとともに、行政の仕事に関心を持ってもらい、理解を深めてもらうことを目的として「子ども見学デー」を開催しました(沖縄行政評価事務所、日本銀行那覇支店共催)。

一日子ども局長、お金や財政について学ぶ、バター作りや紅型手染めの体験、バリアフリー体験など23の企画を催し579名の方にお越しいただきました。多くの方のご来場、誠にありがとうございました。